

## 令和4年5月 みやぎ工業会 会員アンケート結果

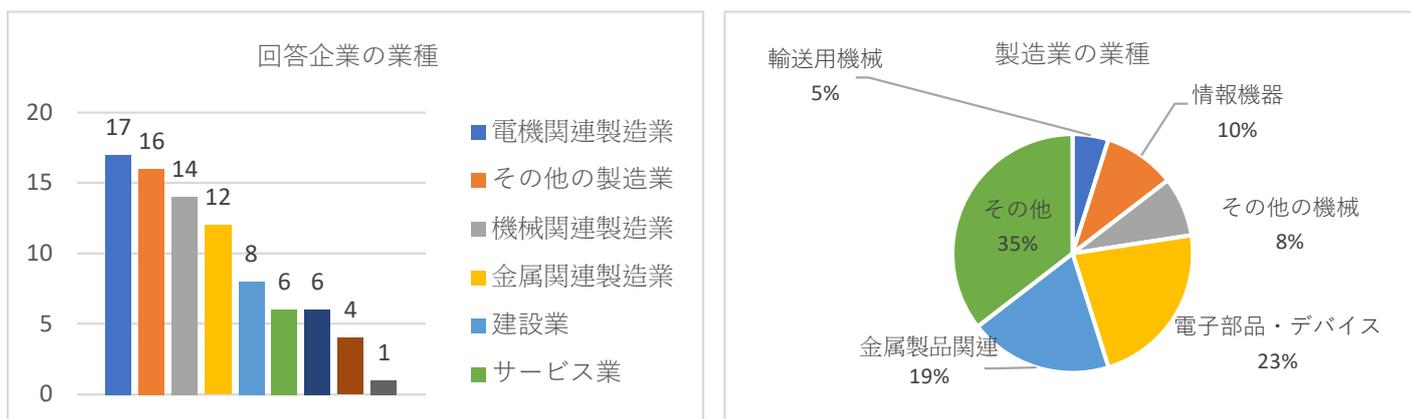
みやぎ工業会の会員アンケートを実施しましたので、結果報告をいたします。

実施期間：令和4年5月13日～20日 対象：みやぎ工業会会員企業 参加数：84社

### 回答結果

#### 1. 業種について

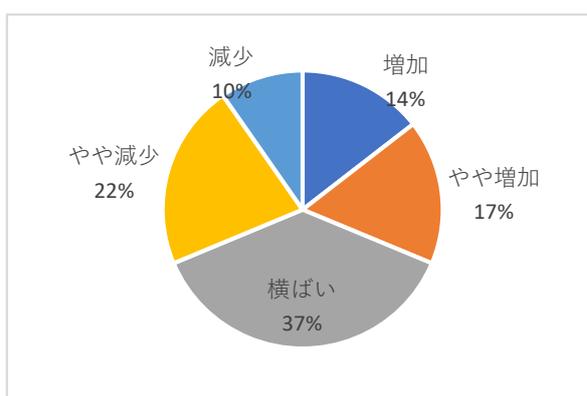
回答していただいた企業は77%が製造業でした。内訳は電子部品・デバイスが23%、金属製品関連19%などとなっています。



#### 2. 今期（令和4年度第一四半期）の売上見通し（前年比）

増加と回答した企業は14%で、この回答をした企業12社中、11社が製造業でした。売上増加の理由としては、半導体製造装置関連の引き合いが増えていることによるもの回答が2社ありました。

一方、減少理由の多くは電力料金の高騰や部品の入荷遅れ、受注減少などによるものとの回答でした。



#### 3. 売上見通しの理由

##### 【増加】

- ・半導体製造装置の受注増計画・自動倉庫関連受注計画増・新規引き合いによる
- ・半導体向け需要が引き続き旺盛。M&A

##### 【減少】

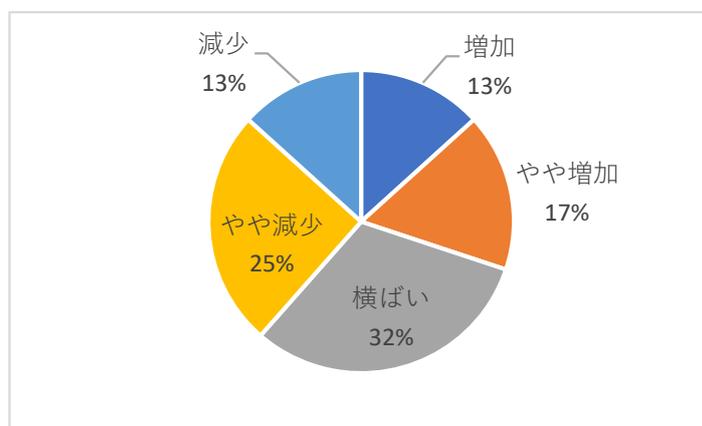
- ・コロナ禍と電力料金高騰
- ・部品の入荷状況が悪く、工期延長や発注自体延期となり全体的に受注量が不足
- ・長引くコロナ禍において新規顧客への営業活動不振とともに、半導体不足やウクライナ情勢、インフラ（電気、ガス、重油等）の高騰、原油高、円安等の影響により従来顧客より注文の減少や製造原価増加のため。

- ・ 人手不足
- ・ 部品供給不足の影響
- ・ 官公庁の発注が遅れており、受注が減少しているため。
- ・ 半導体等の部材調達が難しいため

#### 4. 今期（令和4年度第一四半期）の利益予想（前年比）

増益と減益の回答が、いずれも13%でした。増益の理由としては、半導体製造装置の好調が挙げられていました。

減収の理由としては売り上げの減少に加え、円安によるコスト増、エネルギーや材料高騰などによってなっています。



#### 5. 利益見通しの理由

##### 【増加】

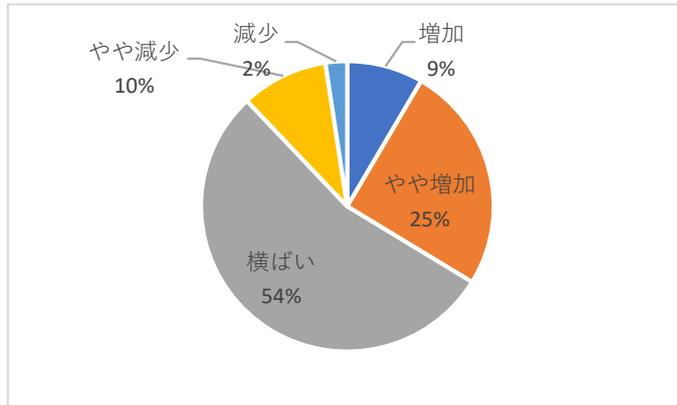
- ・ 半導体製造装置の受注増・自動倉庫関連の新規案件受注増
- ・ 製造業（半導体、自動車、工作機械）得意先の好調に伴う
- ・ 売上増による
- ・ 主力市場の好調によるオーダー増

##### 【減少】

- ・ コロナ禍と電力料金高騰
- ・ 工場内製品の売上減少と購入材料費の高騰を価格に転換できず、利益率も悪いため
- ・ 人件費及び原価等高騰の為、輸送コストも増になり全体的にコストが上がる為
- ・ 受注減と原材料、エネルギーコストの高騰
- ・ 売り上げが減少しているため
- ・ 資材関係及び燃油価格の増加により利益圧縮
- ・ 長引くコロナ禍において新規顧客への営業活動不振とともに、半導体不足やウクライナ情勢、インフラ（電気、ガス、重油等）の高騰、原油高、円安等の影響により従来顧客より注文の減少や製造原価増加のため
- ・ 人手不足のため、安定的な営業活動ができないため
- ・ 材料の高騰で一部販売単価に転嫁できない
- ・ 生産終了機種の一部受注減
- ・ 半導体等の部材調達が難しいため

## 6. 設備投資の見通し（前年との比較）

横ばいとの回答が半分以上を占めました。次いで増加とやや増加の合計が34%となりました。増加の9%は、いずれも製造業となっています。



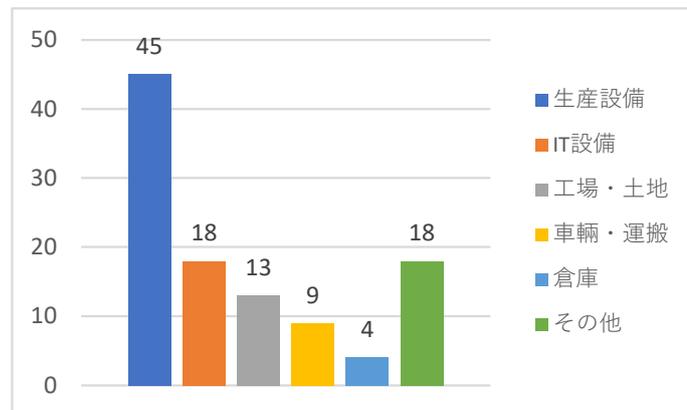
## 7. 設備投資見通しの理由

### 【増加】

- ・倉庫不足による外部倉庫借用をやめ、自社倉庫&物流センターを新設する。
- ・社屋の新設
- ・新規事業
- ・事業拡大による。
- ・生産性向上を図るため
- ・生産能力増強、リプレース

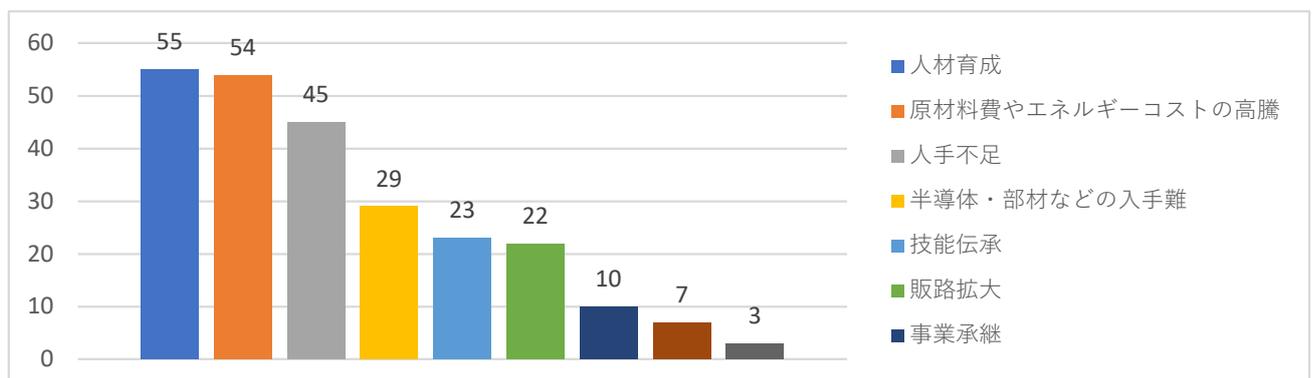
## 8. 設備投資の内容

設備投資の内容では、生産設備が45社と最も多く、続いてIT設備となっています。生産が好調な企業による設備投資と思われます。



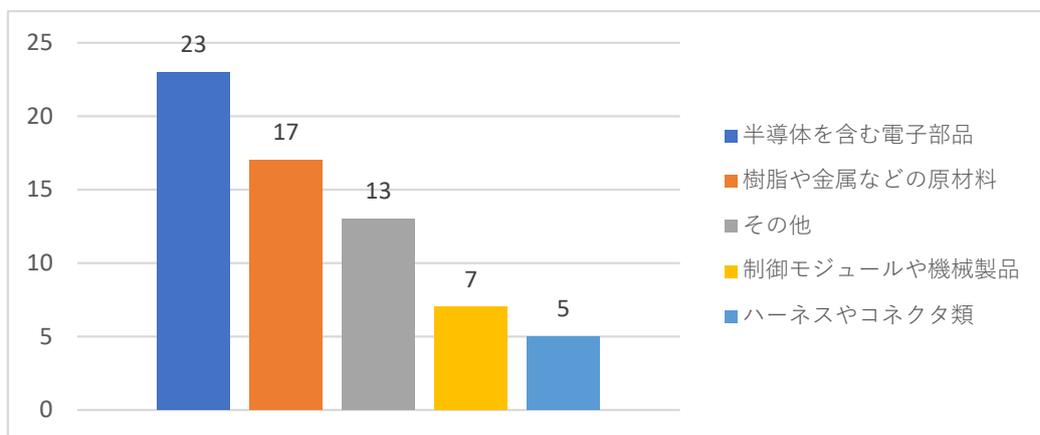
## 9. 経営上の課題

これまでの人材育成や人手不足に加え、原材料やエネルギーコストの高騰、半導体や部材の不足なども加わり課題が拡大しています。



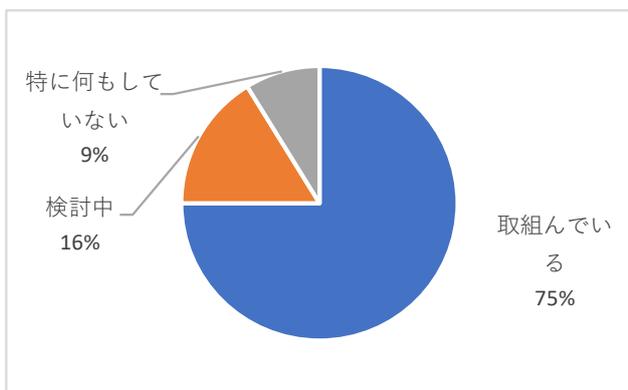
## 10. 不足している部材

半導体や電子部品の不足が最も多いとの結果でしたが、ほかにも樹脂や金属材料、ハーネスなど、広範囲にわたる部材が不足しているとの回答結果となっています。



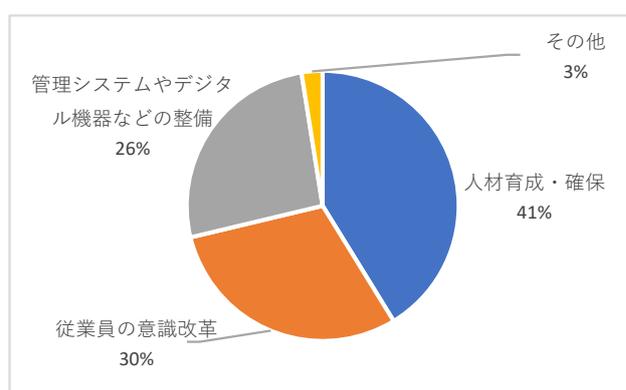
## 11. 生産性の向上

生産性の向上については75%の企業が取り組んでいると回答しており、検討中の16%を併せると、91%の企業が何らかの取り組みを行っています。



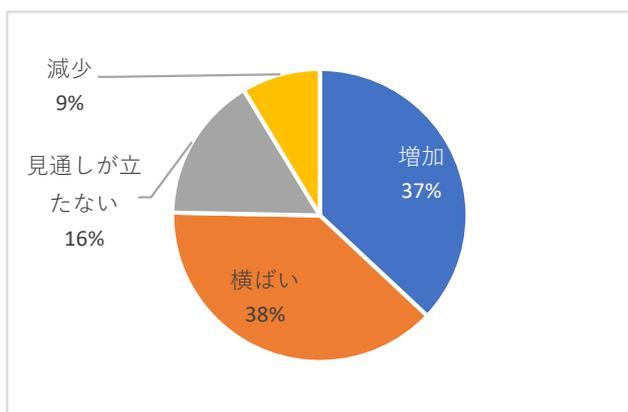
## 12. 生産性の向上のための課題

生産性向上の課題として人材育成や人材確保を上げた方が41%いました。また従業員の意識改革との回答も30%あり、人に関する課題解決が求められています。



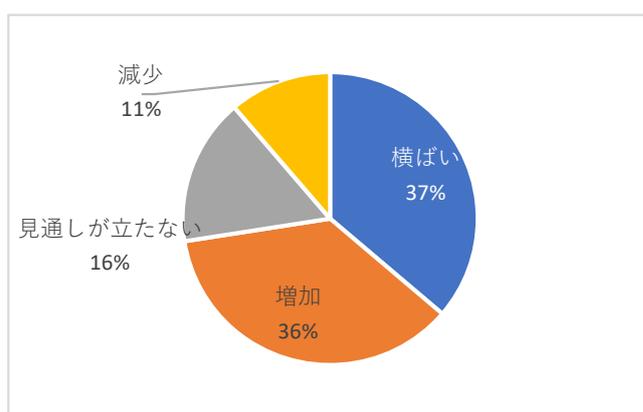
## 13. 来期（令和5年度第一四半期）の売上見込

増加の見込みが37%となっており、来期の売上は増加傾向となっている。



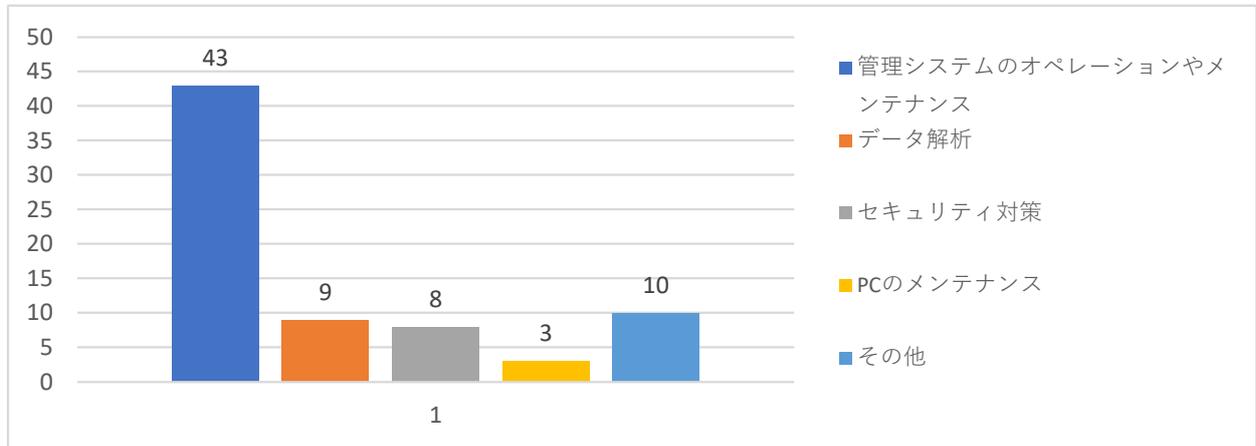
## 14. 来期（令和5年度第一四半期）の利益見込

利益についても売上と同じ傾向となっており、全体としては増加傾向となっている。

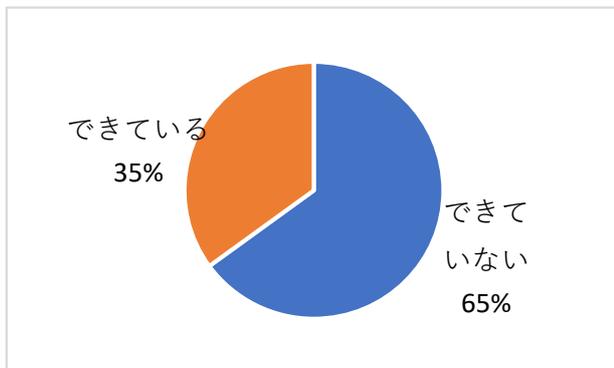


## 15. デジタル人材が不足している業務

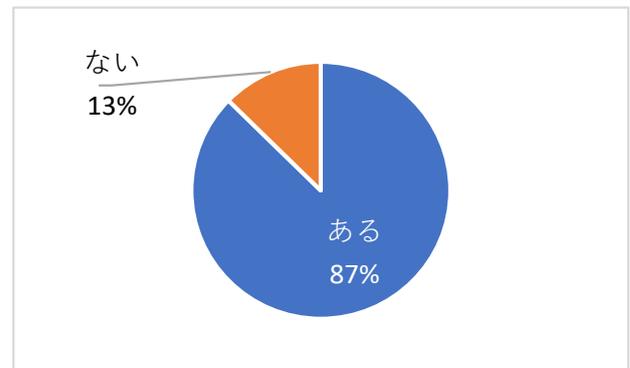
デジタル人材が必要とされているのは、管理システムのオペレーションやメンテナンスが圧倒的に多いという結果となりました。この傾向は規模の大きい企業でも見られ、産業界全体として課題となっています。



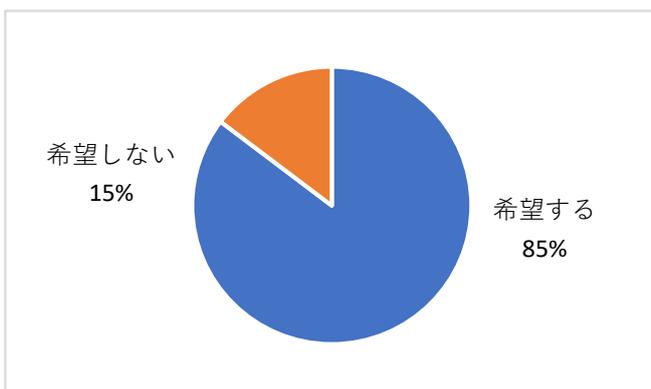
## 16. 若手技能者の採用は計画どおり採用できていますか



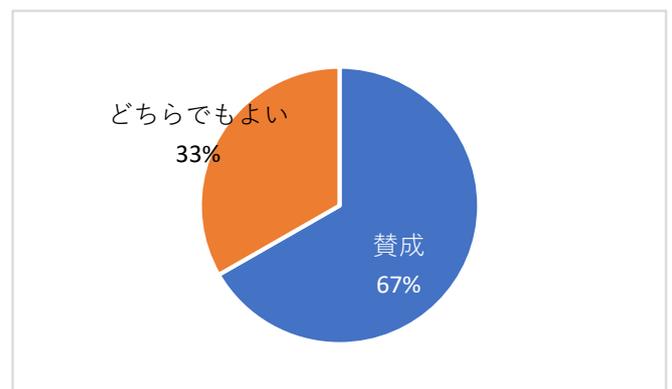
## 17. 若手技能者の離職を減らしたい意向はありますか



## 18. 技能五輪開催に向けた技能向上活動に参加を希望しますか



## 19. 技能五輪全国大会の地元開催に賛成ですか



## 20. 行政への要望

補助金や助成金を望むコメントが多くみられました。

- ・補助金充実
- ・円安を改善し食料品などの輸入価格を抑え、消費税減税や撤廃により国内消費拡大を促す施策に切り替えて欲しい。
- ・引き続き今後とも、各種補助金の整備をお願いいたします。
- ・新卒者の入社について後方支援をお願い致します。
- ・設備投資(生産設備/土地/工場) に対応する助成金の予算枠拡張
- ・コロナ感染の濃厚者にも救済を検討願います。休業分の補償等
- ・補助金増減額の増額
- ・エネルギーコスト、特に電気料金高騰に対しての救済措置を行ってほしい。
- ・中小企業への補助金制度などはあるが、中堅企業、みなし大企業へのサポートが少ないと感じている。
- ・更なる設備投資等の補助の支援をお願いしたい。更なる販路開拓への支援をお願いしたい。
- ・新卒採用リクナビ、マイナビ大手求人サイト等掲載向け、助成金・補助金
- ・仙台市（政令指定都市）のみの補助事業、助成金事業が多く見受けられるが、県全体で見ると大いに公平性に欠けると感じる。このままでは仙台市への一極集中が益々進むのではと危惧する。
- ・全国的に見て、各地方の実情に沿った人的支援と補助金・助成金を拡充して欲しい。せっきく税金を投入するのであれば日本国内の企業が潤うようにして、単なるばらまきはやめて欲しい。
- ・減税対策(原材料高騰)
- ・デジタル化支援は、そろそろ人材育成の次のステージも始めてほしい。
- ・各種補助金や商談機会などの情報
- ・技能の向上に向けた予算を計上してほしい
- ・各種助成金の緩和
- ・新規事業への補助金と説明・見える化
- ・若手技能者の人材支援や魅力ある会社や現場系職種の魅力を引出す為の広報等のご提案等を希望致します。
- ・補助金や優遇制度の周知をお願いしたい。
- ・宮城県ではなく、石巻市に対し要望があります。石巻市は決して漁業だけの市ではありません。工業もあり、弊社のような設備を設計・製作する会社はたくさんありますが、常にクローズアップされるのが漁業関連だけのイメージが強いです。もう少し石巻市産業部も地元をもっと足を使い知るべきと思います。

ご協力いただいた皆様に感謝いたします。